

【埼玉県】【さいたま市】【保育士保育所支援センター】【埼玉労働局】 保育士の人材確保のため「保育士合同就職面接会」を実施 ～県の持つ情報と国の持つ情報により、効果的な周知を実施～

【課題・目的】

埼玉県では、平成27年4月に向けて85ヶ所の保育所整備が進められており、保育士の人材確保が喫緊の課題である。このため、一人でも多くの保育士を確保することができるよう、保育士合同就職面接会を開催する。

※保育士マッチング強化プロジェクトの一環として実施

【実施概要】

- ◆ 埼玉県内に就業場所を有する保育施設と保育士・保育補助などの仕事を希望する求職者に特化した就職面接会を開催。
- ◆ 埼玉県に保育士登録をしてる55歳未満の者（約53,000人）に対して実施したアンケートにおいて、埼玉県や労働局（ハローワーク）が開催する面接会等の情報提供を希望する潜在保育士約5,300人の名簿リストを作成。

当該リスト及びハローワークの求職者（保育分野希望者）にダイレクトメールを送付し、周知を実施。

【役割分担】

【埼玉県】

- ◆ 名簿リストの作成。
- ◆ 面接会当日は、保育施設管理者を招いて「もう一度、あなたらしく働いてみませんか？」と題したセミナーを同時開催。

【埼玉労働局】

- ◆ 面接会の運営全般。
- ◆ ハローワークにおいて、ポスターの掲示、リーフレットの配布や、窓口で参加の呼びかけを実施。

【さいたま市】

- 記者発表を行い周知・広報を実施

【保育士保育所支援センター】

- ◆ 福祉人材センターのホームページを活用した面接会の周知・広報
- ◆ 保育士保育所支援センターを利用する求職者への参加の呼びかけを実施。
- ◆ 面接会当日は、保育士保育所支援センターの相談コーナーを設置し、求職者の相談を実施。



＜埼玉県コメント＞

これまで課題であった潜在保育士へのアプローチが可能となった。国と県で情報を共有し、より多くの面接会等の情報を発信することができた。また、再就職のためのセミナー（6回）や職場体験（随時）を実施したことにより、効果的な支援を行うことができた。

＜労働局コメント＞

県が持つ潜在有資格者の情報とハローワークの持つ求職者の情報を使うことにより、真に必要な者に対し、効果的な周知を行うことができた。

また、面接会と併せて、保育士保育所支援センターの相談窓口を設置することにより、求職者に対して効果的な支援を行うことができた。

今後とも、県と国のそれぞれの強みを活かし合い、継続して実施していきたい。

◆実績

参加求人者57事業所

参加求職者188人

就職45人（12月末日現在）

※ 参加求職者のうち、約50%が潜在保育士名簿リストからの参加者